

第1回九頭竜川流域治水協議会

＜議事概要＞

日時：令和2年8月25日（火）

9:00～10:00

場所：WEB会議

【出席者】

大野市長、勝山市長、鯖江市長、あわら市長、坂井市長、越前町長、九頭竜川ダム統合管理事務所長、福井河川国道事務所長

（以下、代理出席）

福井市建設部長、越前市建設部都市整備課長、永平寺町副町長、池田町町土整備課長、南越前町建設整備課長、福井県土木部副部長、岐阜県県土整備部河川課長、足羽川ダム工事事務所副所長

【議事概要】

1) 設立趣旨・規約について

- ・意見なし。
- ・設立趣旨を踏まえ、規約のとおり協議会を設立。

2) 流域治水プロジェクトの進め方について

- ・以下のとおり、流域対策及びソフト対策等について意見等があった。

○田んぼダムを紹介したい。約2,000町ある田圃について、現在は約60%にあたる約1,160町で田んぼダムを整備済み。国の水害サミットにおいて見附市や三条市、新潟県の事例を踏まえて取り入れた。局地的な大雨に対しては、非常に効果があると思っている。これからも100%目指して進めていきたい。上流域の自治体でもご協力いただいている。

○下水道事業の取組みを紹介したい。平成16年の福井豪雨以降、雨水排除能力の不足に対して約12箇所を約25,000m³を貯める雨水貯留施設を整備した。それでも、昨今の大雨で浸水が生じてしまう箇所があり、平成29年度から雨水タンク・止水板設置について補助制度を創設し支援をしている。民間の方々のご協力も得ながら浸水被害の軽減に努めている。

○福井県からの支援と福井河川国道事務所の協力により、県内では早い段階で要配慮者利用施設における避難確保計画作成の支援について注力してきた。令和2年7月豪雨における痛ましい犠牲は他人事でない。避難確保計画作成は100%を達成したが、今後は計画を踏まえた訓練の実施についても、全施設で対応したい。今回設置されたこの協議会では、広い流域内の多くの市町が集まる場なので、より多くのソフト対策について情報提供を頂けると期待している。

○全国で大水害が頻発している状況を踏まえると、これまでのような河川対策だけでは対応は難しい。みんなで流域対策に取り組む政策の方針転換を図る。田んぼダムにより水を貯める等の、できるだけ河川の水位を高くしない対策に加え、氾濫しやすいところには中長期的に土地利用規制の他、まちづくりを含めた対策の検討も必要になってくる。

○河床の砂利や砂の採取は今でも禁じられているのか。上流の山が削れ、川が削れて、それらの土砂が河川に堆積していくのは自然の摂理。完全に洪水を封じ込めて、同じ川の流れをキープしようとするには無理がある。長期的な視点で考えていく必要がある。

○河川事業は河川対策として平面図に落とし込むことになるがその具体的なスケジュールが気になる。整備時期を明確に書いてほしい。

○河川の浚渫と樹木伐採は今後も続けて頂けるのか。住民にとって安心につながるので予算確保に努めていただきたい。

○国土強靱化の3カ年計画は最終年度になりますが、引き続きしっかり進めていけるように予算要求していく。

○9月の時点で第2回協議会を開催し、ハード対策等々については、まとめていきたい。

3) その他

- ・特になし。

以上